

平成29年度下半期業務状況説明書

(平成29年10月～平成30年3月)

山武郡市広域水道企業団

目 次

1. 事業の概要	1
(1) 概況		
(2) 工事の概況		
(3) 業務に関する事項		
2. 経理の状況	3
(1) 予算執行状況		
(2) 損益計算書		
(3) 貸借対照表		
3. 平成30年度予算の概要	8
(1) 概況		
(2) 予算実施計画		
(3) 経営方針		

1. 事業の概要

(1) 概況

○総括

業務状況については、今期の給水予定量9,039,514m³に対し、0.7%減の8,980,729m³(前年度比0.6%減)の供給実績となり、1日平均給水量は49,345m³、1日最大給水量は53,530m³で10月12日に記録しました。

財務状況については、収益的収支(消費税及び地方消費税抜き)において、総収益が2,885,534,262円、総費用が2,553,269,555円で、差引332,264,707円の純利益となりました。

○議会議決事項

議案番号	議決年月日	件名
議案第1号	H30.2.16	平成29年度山武郡市広域水道企業団水道事業会計補正予算(第1号)について
議案第2号	H30.2.16	平成30年度山武郡市広域水道企業団水道事業会計予算について

○行政官庁認可事項

申請先	認可年月日	件名
千葉県知事	H29.10.6	千葉県生活基盤施設耐震化等補助金交付申請について [重要給水施設配水管耐震化事業]
千葉県知事	H29.10.6	千葉県生活基盤施設耐震化等補助金交付申請について [水道管路緊急改善事業]
千葉県知事	H30.3.7	平成29年度市町村水道総合対策事業補助金交付申請について

○職員に関する調

区 分	平成29年度 下半期	平成28年度 下半期	増 減
事 務 職 員	28(2) 人	27(2) 人	1(0) 人
技 術 職 員	26(1) 人	27(0) 人	△1(1) 人
計	54(3) 人	54(2) 人	0(1) 人

※()内は、再任用短時間勤務職員数を示した外数。

(2)工事の概況

○建設・改良工事

区 分	施 工 内 容	金 額(円)
配水管改良事業	東金市 φ 50 ~ φ 350 L= 708.9 m	591,459,676
	大網白里市 φ 50 ~ φ 300 L= 1,102.4 m	
	山武市 φ 50 ~ φ 300 L= 1,846.7 m	
	九十九里町 φ 50 447.3 m	
	横芝光町 φ 75 ~ φ 100 L= 308.7 m	
配水管移設事業	大網白里市 φ 50 ~ φ 75 L= 189.0 m	18,549,946
	山武市 φ 50 ~ φ 100 L= 99.0 m	
施設用建物	大網配水場電気・ポンプ室棟耐震補強工事	22,248,000
電気設備	大網配水場監視制御設備更新工事	267,300,000
	東金配水場遠方監視制御設備更新工事	

(3)業務に関する事項

○業務量

事 項	平成29年度 下半期	平成28年度 下半期	比 較	
			増 減	比率(%)
給 水 人 口 (人)	158,616	160,351	△ 1,735	98.9
給 水 量 (m ³)	8,980,729	9,039,128	△ 58,399	99.4
一日平均給水量 (m ³)	49,345	49,666	△ 321	99.4
有 収 水 量 (m ³)	8,164,191	8,259,881	△ 95,690	98.8

2. 経理の状況

(1) 予算執行状況(平成30年3月31日)

(消費税及び地方消費税込み表示)

収 入

(単位:円・%)

区分	予算現額	上半期	下半期	調定累計額	予算執行率	収入累計額	収入率
勘定	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)=(4)÷(1)	(6)	(7)=(6)÷(4)
収益的収入	5,360,447,000	2,182,014,985	3,206,695,988	5,388,710,973	100.5	4,926,584,277	91.4
資本的収入	166,100,000	13,103,117	114,022,634	127,125,751	76.5	125,378,503	98.6

支 出

(単位:円・%)

区分	予算現額	上半期	下半期	執行累計額	予算執行率	支払累計額	支払率
勘定	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)=(4)÷(1)	(6)	(7)=(6)÷(4)
収益的支出	5,034,635,000	1,960,686,975	3,046,103,750	5,006,790,725	99.4	4,937,573,110	98.6
資本的支出	1,339,083,000	1,094,021,634	11,067,290	1,105,088,924	82.5	756,430,884	68.4
たな卸資産 購入限度額	22,158,000	8,498,146	5,948,395	14,446,541	65.2	13,790,452	95.5
【繰越】 資本的支出	63,325,800	63,325,800	0	63,325,800	100.0	44,604,000	70.4

(2) 損益計算書 (平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(消費税及び地方消費税抜き表示)

(単位:円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	1,899,264,685		
(2) その他営業収益	<u>5,574,782</u>	1,904,839,467	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	1,469,834,343		
(2) 配水及び給水費	252,876,252		
(3) 総係費	229,122,985		
(4) 減価償却費	474,588,847		
(5) 資産減耗費	<u>82,279,409</u>	<u>2,508,701,836</u>	
営業損失			603,862,369
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	254,110		
(2) 給水申込加入金	58,890,000		
(3) 他会計補助金	366,484,000		
(4) 県補助金	349,942,000		
(5) 長期前受金戻入	168,612,194		
(6) 雑収益	<u>36,512,491</u>	980,694,795	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	10,157,792		
(2) 消費税及び 地方消費税	<u>33,477,380</u>	<u>43,635,172</u>	<u>937,059,623</u>
経常利益			333,197,254
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	927,695		
(2) その他特別損失	<u>4,852</u>	<u>932,547</u>	<u>△ 932,547</u>
当期純利益			<u>332,264,707</u>
当期末未処分 利益剰余金			<u><u>332,264,707</u></u>

(3)貸借対照表（平成30年3月31日）

(消費税及び地方消費税抜き表示)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1)有形固定資産

イ 土 地		1,101,088,084
ロ 建 物	362,179,286	
減価償却累計額	△ 167,513,469	194,665,817
ハ 構 築 物	45,080,143,742	
減価償却累計額	△ 24,134,108,236	20,946,035,506
ニ 機 械 及 び 装 置	4,057,954,962	
減価償却累計額	△ 2,082,174,284	1,975,780,678
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	25,472,431	
減価償却累計額	△ 20,387,786	5,084,645
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	86,177,865	
減価償却累計額	△ 72,447,077	13,730,788
ト 建 設 仮 勘 定		113,654,072

有形固定資産合計

24,350,039,590

(2)無形固定資産

イ 施 設 利 用 権		119,362
-------------	--	---------

無形固定資産合計

119,362

固定資産合計

24,350,158,952

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		5,432,139,811
(2) 未 収 金	490,810,365	
貸 倒 引 当 金	△ 5,007,432	485,802,933
(3) 貯 蔵 品		39,033,057
(4) 前 払 金		47,700,000
(5) その他流動資産		1,000,000

流動資産合計

6,005,675,801

資 産 合 計

30,355,834,753

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ	建設改良の財源に 充てるための企業債	1,014,997,542	
	企業債合計		1,014,997,542

(2) 他 会 計 借 入 金

イ	建設改良の財源に 充てるための長期借入金	86,198,887	
	他会計借入金合計		86,198,887

(3) 引 当 金

イ	退職給付引当金	78,324,000	
ロ	修繕引当金	20,000,000	
	引当金合計		98,324,000

固定負債合計 1,199,520,429

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ	建設改良の財源に 充てるための企業債	80,033,104	
	企業債合計		80,033,104

(2) 未 払 金

422,087,105

(3) 引 当 金

イ	賞与引当金	20,255,000	
ロ	法定福利費引当金	3,783,000	
	引当金合計		24,038,000

(4) その他流動負債

3,970,310

流動負債合計 530,128,519

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

17,952,417,200

収益化累計額 △ 10,379,773,217

繰延収益合計 7,572,643,983

負債合計 9,302,292,931

資 本 の 部

6	資 本 金		10,113,800,780
7	剰 余 金		
	(1) 資 本 剰 余 金		
	イ 受贈財産評価額	357,670,086	
	ロ 寄 付 金	39,426,650	
	ハ 工 事 負 担 金	10,127,493,888	
	ニ その他資本剰余金	105,192,705	
	資本剰余金合計	10,629,783,329	
	(2) 利 益 剰 余 金		
	イ 当年度未処分利益剰余金	309,957,713	
	利益剰余金合計	309,957,713	
	剰 余 金 合 計		10,939,741,042
	資 本 合 計		21,053,541,822
	負 債 資 本 合 計		30,355,834,753

3. 平成30年度予算の概要

(1) 概況

○業務の予定量

・給水戸数	64,942 戸
・年間総給水量	18,173,000 m ³
・一日平均給水量	49,789 m ³
・主な建設改良事業	
ア 配水管改良事業	4,639 m
イ 配水管移設事業	291 m
ウ 配水池整備事業	松尾配水場3号配水池築造工事
エ 電気設備事業	東金配水場遠方監視制御設備更新工事 大網配水場電気設備更新工事 松尾配水場3号配水池築造に伴う電気設備工事

○予算の規模

款	平成30年度 千円	平成29年度 千円	比 較	
			増 減 千円	増減率 %
収益的収入	5,376,949	5,314,960	61,989	1.17
収益的支出	4,959,374	5,009,378	△ 50,004	△ 1.00
資本的収入	294,953	178,277	116,676	65.45
資本的支出	1,806,622	1,348,953	457,669	33.93

○予算の内訳

水道事業会計の予算は、水道水を家庭までお届けするために必要な水道事業費用とその財源の水道事業収益及び、水道施設を新たに建設・整備・改良するために必要な資本的支出とその財源の資本的収入から成り立っています。

水道事業収益の主なものは、水道料金41億3千万円、構成市町及び県からの補助金7億5千万円であります。

水道事業費用の主なものは、九十九里地域水道企業団に支払う受水費31億1千万円で、費用の約63パーセントを占めております。

資本的収入は、基幹管路耐震化事業や重要給水施設配水管耐震化事業、松尾配水場3号配水池整備事業のための国庫補助金2億6千万円、構成市町からの依頼により実施する配水管移設費等の負担金3千万円です。

資本的支出の主なものは、配水管の改良・移設事業、配水池整備事業及び電気設備の更新等の17億3千万円です。

(2) 予算実施計画

○収益的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算額		増減
	平成30年度	平成29年度	
水道事業収益	5,376,949	5,314,960	61,989
営業収益	4,143,458	4,153,399	△ 9,941
営業外収益	1,233,491	1,161,561	71,930
水道事業費用	4,959,374	5,009,378	△ 50,004
営業費用	4,934,587	4,979,242	△ 44,655
営業外費用	19,327	24,824	△ 5,497
特別損失	460	312	148
予備費	5,000	5,000	0

○資本的収入及び支出

(単位:千円)

科目	予算額		増減
	平成30年度	平成29年度	
資本的収入	294,953	178,277	116,676
国庫補助金	261,162	137,354	123,808
工事負担金	33,791	40,923	△ 7,132
資本的支出	1,806,622	1,348,953	457,669
建設改良費	1,726,588	1,270,237	456,351
企業債償還金	80,034	78,716	1,318

(3) 経営方針

「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016」の基本理念である「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」を実現するため、老朽化した施設の維持管理や更新、災害に備えた耐震化対策など計画に掲げる事業を着実に推進しながら安全で安心な水道水の安定供給に努めてまいります。